

南相馬市博物館 企画展

出土遺物保存活用事業

先人の足跡 たけしまくにとも 竹島國基が歩いた遺跡

平成20年1月26日(土)～3月16日(日)



旧原町市に住んでいた故竹島國基は、昭和初期から長年に渡り考古資料の採集・発掘調査等を行い、市内遺跡台帳を作成した郷土史研究者です。

当館では平成5年に当市を中心に福島県浜通りから県内外におよぶ考古資料などの寄贈を受けています。今回の展示では、弥生時代中期の標式遺跡・桜井遺跡の出土資料ほか寄贈された考古資料約10,400点および福島県立博物館収蔵資料の中から、当地方を特色付ける代表的な遺跡の資料を縄文～古代を中心に展示するとともに学術的貢献をされた氏の業績も合わせて紹介します。

土師器壺(左)・石包丁(上) 桜井遺跡出土 福島県立博物館所蔵
土偶(中・右) 石倉遺跡出土 当館所蔵

◆展示解説会

1月27日(日) ①午前10時 ②午後1時30分

◆講演会

2月11日(月) 建国記念の日 午後1時30分～3時30分

演題 「竹島國基氏の考古学上の業績」

講師 馬目順一氏 福島県考古学会副会長・いわき明星大学講師

◆観覧料

区分	個人	団体
一般	300円	250円
高校生	200円	150円
小中学生	100円	80円

団体料金は20名様以上
市内に居住・通学する小中高生は無料
障がい者の方は無料
(手帳をご提示ください)



昭和42年 与太郎内1号墳発掘調査のようす
(前列左から3人目が竹島氏)

写真・西徹雄氏提供

杉並区との交流事業

杉並区と南相馬市は、旧原町市時代の平成17年5月、災害時相互援助協定を締結し、さまざまな交流活動を行っています。11月3日には、杉並区制75周年記念事業「相馬野馬追披露」が、同区桃井原っぱ広場で開催されました。

その行事にちなみ、11月10日より杉並区立郷土博物館分館で、当館との共催事業として「相馬野馬追—受け継がれる武家の伝統—」展が開催されています(展示の詳細は3頁)。

当地方を代表する伝統行事・野馬追を通じて、杉並区・南相馬市双方の相互理解が深まり、より強い絆が生まれることを祈念しています。



杉並区立郷土博物館分館で開催中の

「相馬野馬追—受け継がれる武家の伝統—」展
11月10日に開催された、展示解説会のようす。

資料館の展示資料紹介

大六天遺跡 カマド遺構

大六天遺跡

所在地 江垂字大六天地内

位置と地形 鹿島区を流れる真野川は、市街地の南西部で流れを東に変えて太平洋に注ぐが、この蛇行部の南岸には自然堤防が発達している。特に旧国道に架かる鹿島橋から鹿島中学校の東の落合橋にかけての真野川南岸は自然堤防が連続していて、最近までは主に桑畑として土地利用が行われてきた。

遺跡はこの自然堤防の内、鹿島橋から大河内橋（桜田橋）の間に広がっている。真野川流域では規模の大きな、古墳時代から奈良・平安時代まで連続した集落遺跡と考えられている。

大六天遺跡は、古墳時代では六世紀の遺構に密度の高いものがある。この時期は、西側の段丘に形成された真野古墳群の中心的な時期と一致する。真野古墳群の成立を考える上で重要視される集落のひとつである。集落内で祭祀が行われた可能性が高い遺跡としても、この地区では注目すべき遺跡である。

この資料（カマド遺構）は、鹿島歴史民俗資料館に展示されています。

（鹿島町史第三巻第四節集落遺跡より引用）



展示中のカマド遺構

鹿島歴史民俗資料館

休館日：第三日曜日とその前日、祝・休日

開館時間：午前9時～午後4時30分

入館料：大人110円 中学生以下無料

鹿島区西町三丁目1 Tel: 0244-46-4281 FAX: Telと同じ

常設展示室 ミニテーマコーナー

伝統の技とものづくり

染職人

平成20年1月4日(金)～3月30日(日)

かつては、地方の農村部にも一軒くらいは「染屋」があり、主に藍染めを中心とした染色業を営んでいました。草木染は自家で染めることが一般的でしたが、浴衣や晴れ着用の着物は専門の染屋に頼っていました。

今回は、後染め（織った布に染色する方法）の一つである型染めに用いられた道具（型紙・ハケ・染見本反物）と、野馬追に騎馬武者が背負い、祭りをいどる指旗の手描き染めの道具などを紹介します。

染職人の技と伝統的な染色技法をご覧ください。



型紙



染見本反物



手描き染め

染めた指旗の糊を落とす

杉並区立郷土博物館・南相馬市博物館共催

杉並区立郷土博物館分館特別企画

相馬野馬追 -受け継がれる武家の伝統-

開催場所 杉並区立郷土博物館 分館 2階展示室

会期 11月10日(土)～平成20年1月13日(日) 観覧料 無料

杉並区民をはじめとする多くの方々に、南相馬市の歴史と伝統を深くご理解いただくため、当地方を代表する野馬追を紹介しています。野馬追とはいかなる行事で、どのような歴史を持っているのか、当館の収蔵品を中心に展示しています。

東京にお出かけの際は、ぜひお立ち寄りいただき、ふるさとが誇る行事・野馬追を再確認してみてください。



展示会チラシ



展示図録(¥300 A4・12ページ)も販売しています。問い合わせは杉並区立郷土博物館分館(右記)まで。

杉並区立郷土博物館分館のご案内

場 所 東京都杉並区天沼3-23-1
天沼弁天池公園内 荻窪駅北口徒歩10分
※車での来館はご遠慮ください

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日と第3木曜日
(祝日の場合は翌日)

※12月28日(金)～1月4日(金)は休館

問い合わせ 杉並区立郷土博物館分館

Tel : 03-5347-9801 Fax : 03-5347-9802



博物館の新たな展示資料

小型肉食恐竜の足跡化石



恐竜といえば大人も子供も夢になりますね。実は私もそのひとりです。それはなぜでしょう？

ウルトラサウルスやスーパーサウルスといった、陸上動物として最も巨大な仲間がいたことなども理由かもしれませんね。

ここに展示してある足跡の化石は、小型の獣脚類(肉食恐竜)のものですが、実は足跡の上に泥などが堆積してできたため、出っ張っています。

足跡化石は見つからないだけで、栃窪層にはごく普通に含まれているのかもしれませんね。皆さんも注意して観察していれば、きっと見つかると思いますので、挑戦してみてください。



発見者・平宗雄さん
(相馬中村層群研究会)

今年の10月初めから、常設展示室自然コーナーに展示されている、中生代ジュラ紀後期(約1億5000万年前)の小型肉食恐竜の足跡化石です。

この化石は、2005年11月、平宗雄さん(相馬中村層群研究会)により原町区信田沢の栃窪層から発見されたものです。凸型の3本指の足跡が3つ確認でき、もっとも大きな足跡は長さ7.6センチ、幅5.4センチあります。恐竜の大きさは、腰の高さおよそ30センチ、頭から尾の先まで約1メートルと考えられています。くわしい種類は判明していません。

この貴重な標本を通じて、恐竜たちが歩いていた、太古の南相馬市に想いをはせてみてはいかがでしょうか。



南相馬市博物館の催し物

12月～3月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。
問合せは 南相馬市博物館0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
12月23日(日)	体験学習 「正月飾り作り」	10:00～12:00 定員 20名 講師 佐藤英夫氏 正月に玄関先に飾る注連飾りを作り、年中行事の中でも特に重要視された正月行事について学びます。【材料費】300円
1月13日(日)	体験学習 「みなみそうまの自然③ 一冬の鳥」	10:00～12:00 定員 20名 講師 杉内慶夫氏(日本野鳥の会南相馬支部) 市内の水辺にて、冬にしか見られないカモ類、ハクチョウ類を観察します。 【持ち物】双眼鏡(もっている方)
1月19日(土)	講座 「外来種について」	13:30～15:30 定員 50名 講師 稲葉修学芸員 福島県内や南相馬市内には、どんな外来種の生き物がいるのでしょうか？実物やスライドで解説します。
2月16日(土)	講座 「中村藩の武芸一軍学」	13:30～15:30 定員 50名 講師 二上文彦学芸員 中村藩が導入した「武田流(甲州流)軍学」について紹介します。
2月23日(土)	体験学習 「絵ろうそくを作ろう」	10:00～15:30 定員 20名 講師 二本松文雄主査 伝統的な明かりのひとつのろうそくを作り、絵を描いてみよう。
3月15日(土)	講座 「南相馬の遺跡—縄文・弥生」	13:30～15:30 定員 50名 講師 佐藤祐子学芸員 企画展「先人の足跡」開催に伴い、この地方の特色ある遺跡の中から、縄文、弥生時代の遺跡について紹介します。

博物館の体験学習



お正月用の注連飾りしめかざりを
作りましょう
「正月飾り作り」



「古文書解読講座」【初心者向け】

1月6日・2月3日・3月2日

13:30～15:30 定員 20名

南相馬市にかかわる江戸時代の古文書を実際に解読し、当時の様子を学びます。今回のテキストは、幕末の「異国船渡来」に関するものです。



冬ならではの鳥たちを観察してみよう
「みなみそうまの自然③—冬の鳥」

各館のご利用案内

南相馬市博物館

問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口194 TEL: 0244-23-6421 FAX: 0244-24-6933
E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始(12月29日～1月3日) ※月曜日が祝・休日、相馬野馬追期間中の場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円) ()は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)

鹿島歴史民俗資料館

問合せ 〒979-2334 鹿島区西町三丁目1 TEL: 0244-46-4281 FAX: TELと同じ
E-Mail: k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:30 休館日 第3日曜とその前日。祝・休日。年末年始(12月29日～1月3日)

観覧料 大人110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料